

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

July 2018 vol.51

July						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

◆ 浜田南公園

所在地：名古屋市南区浜田町

交通：JR 東海道本線「笠寺」駅 南約 1.5km

「大江川の水に沈んだ人の数は 307 人に達していた。生き残った多くの人々は、肉親の誰かを失っていた。10月8日頃から南光中学附近の水が退きはじめ、まずあの大波をかぶった一本道が水から顔を出した。学校へ避難した人々は、壊れた自宅へ掃除や補修に行くたびに、この浜田町の一本道を通った。道の北側は、高潮にさらされ、渦に巻かれた荒野だった。裂けたシャツやレインコート、つぶれたバッグや風呂敷が、腐った畳や板切れの間に散っていた。黒い大きな長靴や赤や白の小さなゴム長が、水たまりから頭をのぞかせていた。人々は一本道のあちこちに立ちどまり、親や子をしのんで手を合わせた。やがて水が退くと、人々は遺体のあった草むらのなかで、数々の遺品を探しあてた。そこへ線香を立て、花束、菓子、絵本や月光仮面まで添えて、礼拝をくり返すのである。夜の帳が降りて月影が荒野を照らすまで、人々は立ちつくし、うずくまった。哀れをさそうのは数多くの靴だ。泥にまみれ、折れまがり、裂けながら、それを履いていた人の苦闘を物語っていた。」

「宗教家であった高橋義明が、浜田町の荒野に散っている靴を、いくつかの塚に集めはじめたのもその頃であった。」

「ある新聞記者がそこを通りかかって「くつ塚」と名付けた。年が明けると、誰いうとなくそこを「くつ塚」と呼んでいた。」

三浦和雄の小説「海吠える 伊勢湾台風が襲った日」からの引用です。名古屋市南区浜田町の浜田南公園は、昭和 34

(1959) 年 9 月の伊勢湾台風で多くの犠牲者を出した宝学区に、犠牲者の慰霊のために設置された公園ですが、この浜田南公園のある一帯は、ちょうどこのあたりで避難中の群衆に高潮が襲いかかり、多くの犠牲者を出した場所とされ、台風襲来後 10 日ほど経ち、水が引き始めると、周辺からはご遺体とともに多くの雨靴が取り残されていたのが見つかります。やがてそれらの靴は一か所に集められ、花や線香が供えられるようになり、その場所（浜田南公園のあたり）は「くつ塚」と呼ばれるようになりました。その後、昭和 35 年 4 月には、公園の一角に伊勢湾台風殉難者慰霊之碑が建立されています。

碑には、「激しい風と雨、胸までつかる水、その中で進退きわまった人々の悲しく叫びつづける声が、闇の空にむなしくかき消されてゆくばかりでした。碑の正面に見える路上で 500 を越える人の群れが、必死に励まし頑張り、祈りつづけたのですが、無情の高潮は遂に 280 に近い人命を一時に呑み込んでしまったのです。」という台風襲来時の悲劇の様子と、宝学区民の総意と努力により慰霊のために碑が建立されたことが記されています。

伊勢湾台風で 1,400m 余りの堤防が決壊し、宝学区に大きな被害をもたらすこととなった大江川は、伊勢湾台風後には護岸の改修工事が行われ、その後暗渠となり、昭和 54 年からは大江川緑地として供用が開始され、現在では緑豊かな公園として親しまれています。



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していたととともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



◆ 浜田南公園の周辺には…

● 東南海地震の碑

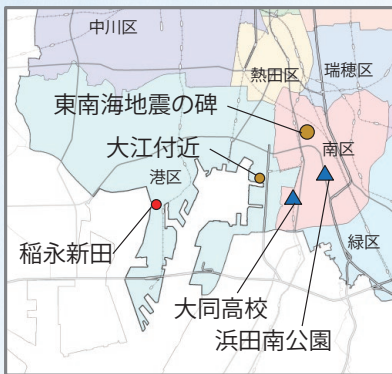
所在地：名古屋市南区豊田 名南ふれあい病院内

交通：名古屋市営バス「三新通二丁目」停南すぐ

昭和 19（1944）年昭和東南海地震で、軍需工場の建物が倒壊し、動員されていた労働者と学徒ら 51 人に加え、朝鮮女子勤労挺身隊員 6 人が犠牲になりました。



この碑は慰霊のために建てられたもので、碑には「悲しみを繰り返さぬようにここに真実を刻む」と書かれています。



● 大同高校

所在地：名古屋市南区大同町

交通：名鉄常滑線「大同町」駅東約 100m

「愛と力の筏」と名付けられたブロンズ像です。筏（台座）には、高潮水位が記されています。この像の銘板には、伊勢湾台風時の高潮の状況、生徒達の献身的な活動などが記載されています。この像は、これらの活動を長く伝えるために建てられたものです。

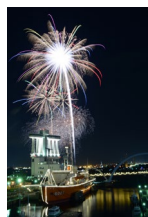


◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ 海の日名古屋みなと祭

海の日名古屋みなと祭は、7月の第3月曜日・海の日（祝日）に名古屋港ガーデンふ頭一帯で開催される名古屋の夏の風物詩のお祭りです（平成 30 年は 7 月 16 日）。

当日は名古屋市指定無形民俗文化財の筏師一本乗り大会でイベントが始まり、ガーデンふ頭のステージではマーチングバンドの演奏やジャズコンサートが催されます。また、海洋少年団、一輪車、音楽隊によるパレードや、山車・流しおどりも行われます。夕方からは総踊りが行われ、フィナーレは花火大会です。みなと祭の花火大会では、メモリアル花火やスターメインなど、合計 3,000 発の花火が打ち上げられ、名古屋の夏の夜を彩ります。



海の日名古屋みなと祭公式 HP より

7月のあいちの花

平成 30 年 7 月のあいちの花はコチョウランです。コチョウランは、東南アジアを中心とした熱帯・亜熱帯地域に約 50 種が分布するランの一種で、日本では店舗の



ヤサシイエンゲイHPより

開業祝いなどに用いられる高級な鉢花として知られています。

和名のコチョウラン（胡蝶蘭）は花姿を蝶に例えたものですが、属名のファレノプシスはギリシア語のファライノ（蛾）からきています。一般に流通しているものは交配種が多いですが、原種にも独特の魅力があります。

● ブレイクタイム ●

♪ 名古屋港水族館

名古屋港ガーデンふ頭エリアに位置する名古屋港水族館は、「南極への旅」をテーマとした南館、「35 億年はるかなる旅～ふたたび海へもどった動物たち～」をテーマとした北館からなり、多様な展示がなされています。

左右 60m、奥行き 30m、深さ 12m の日本最大級のプールで行われるイルカやシャチのパフォーマンスも必見です。その他、シロイルカ（ブルーガ）の繁殖や人工雪を降らせたペンギンの水槽など、日本初のような取り組みも行われています。



Aichi Now HP より

◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 平成 30 年 7 月）

